

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 畜産安全課
 担当名: 畜産振興担当
 内線: 4193

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B17	畜産振興対策事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費	
事業期間	平成27年度～	根拠法	家畜改良増殖法第2条、酪肉振興法第2条の3、養豚農業振興法第4条～9条、養鶏振興法第18条	宣言項目	08	稼ぐ力の向上			
				分野施策	040937	強みを生かした収益力ある農業の確立			
1 事業の概要 施設整備の国庫補助事業や飼料用米利用促進のための農家補助及び必要な指導を総合的に行うことで、本県畜産の競争力の強化を図る。 (1) 畜産総合対策事業 国補正予算に対応するための増額 117,000千円 (2) 酪農振興対策事業 増減なし (3) 飼料用米利用促進事業 増減なし				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 畜産総合対策事業 (ア) 施設整備支援事業 117,000千円 (補助率1/2以内) 畜産クラスター事業による畜産関係施設の整備 (イ) 経営革新指導事業 1,444千円 クラスター協議会の指導及び畜産経営分析の実施等 イ 酪農振興対策事業 2,500千円 県内酪農家の生産性阻害要因となっている牛白血病及び乳房炎防除のための機器を整備し、早期清浄化を図る。 ウ 飼料用米利用促進事業 256千円 県内畜産農家の飼料用米地域内流通を促進するための耕種農家とのマッチング等を実施 (2) 事業計画 ア 畜産総合対策事業 (ア) 施設整備支援事業 平成30年度 牛舎の整備 (イ) 経営革新指導事業 平成28年度～ 畜産クラスター協議会の指導及び畜産経営分析の実施 イ 酪農振興対策事業 平成29年度～ 牛白血病及び乳房炎の検査及び指導 ウ 飼料用米利用促進事業 平成29年度～ 飼料用米利用の推進 (3) 事業効果 産地競争力の強化、収益力の強化及び悪臭等環境問題の改善等に必要な施設や機器・設備の整備、並びに家畜改良の推進及び飼養技術の向上により、本県畜産経営の安定が図られる。 畜産産出額 平成25年度 284億円 → 維持 (4) 補正予算の概要 「ア畜産総合対策事業の(ア)施設整備支援事業」の国補正予算対応による増額補正					
2 事業主体及び負担区分 (1) 施設整備支援事業 (国1/2・県0) 市0・事業者1/2 経営革新指導事業 (県10/10) (2)(3) (県10/10)									
3 地方財措置の状況 普通交付税 (単位費用) (区分) 農業行政費 (細目) 生産流通振興費 (細節) 畜産振興費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×8人=76,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	117,000	国庫支出金	117,000					0	121,200
現計額	4,200							4,200	